

桐生市水道事業

公営企業会計システム更新業務

公募型プロポーザル 審査要領書

令和4年3月

桐生市 水道局総務課

## 1 基本方針

桐生市水道事業公営企業会計システム更新業務に係る公募型プロポーザルは、提出された企画提案書等の内容及びプレゼンテーションの優秀性により優先契約交渉事業者を選定するために行う。

## 2 審査の実施

審査については、水道局総務課長、水道局総務課経理係長、水道局総務課職員1名、工務課職員1名、浄水課職員1名、下水道課職員1名の計6名の委員が選定を行う。

## 3 審査の対象

審査の対象は、桐生市水道事業公営企業会計システム更新業務に係る公募型プロポーザル実施要領書の参加資格要件を満たしている事業者とする。

## 4 審査の方法

### (1) 一次審査

一次審査は、企画提案書について書類審査を実施し、審査項目ごとに評価点を算出する。選定委員全員の合計点を、その参加事業者の一次審査の評価点とする。

参加表明届等の提出が4者以上の場合、書類審査により3者を選定し、二次審査参加者とする。ただし、複数者が同点である場合は、3者より多く選定できるものとする。

①実施日（予定） 令和4年4月下旬

②結果の通知（予定） 令和4年5月9日（月）

※ 二次審査の会場、順番、参加事業者ごとの開始時間などの詳細は、一次審査の結果とともに、通過した者に電子メールで通知する。

### (2) 二次審査

二次審査は、一次審査を通過した者を対象に、企画提案書に基づくプレゼンテーション及び質疑応答を実施し、審査項目ごとに評価点を算出する。一次審査と同じく、選定委員全員の合計点を、その参加事業者の二次審査の評価点とする。

①実施日（予定）

令和4年5月17日（火）に行うものとし、日時及び会場は別途通知する。

②使用機材

プロジェクター、スクリーンは、市が用意する。パソコン等その他機材については参加事業者が用意すること。

③タイムスケジュール

プレゼンテーションは、1者ずつの呼び込み方式とし、1者の持ち時間は、説明45分間、質疑応答15分の計60分とする。質疑応答が終わったら、速やかに片付けを行うこと。（事前準備及び後片付けは時間に含まない。）

④プレゼンテーションの内容は、提出のあった提案内容に基づくものとする。なお、追加の資料は一切認めない。

⑤プレゼンテーションの説明者は、補助者を合わせて4名までとする。

(3) 優先契約交渉事業者の選定

- ①優先契約交渉事業者は、一次審査及び二次審査の評価点の合計点が、最も高い参加事業者とする。
- ②複数の参加事業者が同得点だった場合は、一次審査の「1 基本性能・操作性」と二次審査の「3 システムの操作性」に対する評価点の合計点が高い方を上位とする。
- ③上位の参加事業者が辞退または失格となった場合は、評価点の合計点が高い者から順に優先契約交渉事業者とする。

(4) 最終選考結果通知

最終選考結果は、各参加事業者宛てに、令和4年5月25日（水）に電子メール及び文書で通知する。

5 審査の項目

審査項目は、次のとおりとする。

(1) 一次審査（企画提案書）の審査項目

審査項目	
1	基本機能・操作性
2	保守・サポート体制
3	電子データの機密性・完全性・可用性
4	その他アピールポイント

(2) 二次審査の審査項目

審査項目	
1	提案姿勢
2	業務への取り組み意欲
3	システムの操作性
4	質疑への回答姿勢・能力
5	見積書による経費